

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表																							
記入年月日	平成18年4月25日		記入者	連絡先	742-6462																		
部 名	環境事業部	課 名	東清掃事業所	課長名	小林 記久																		
事務事業名	施設維持管理事業																						
予算上の事務事業名	施設維持管理費（施設維持管理費）																						
1 総合計画における位置づけ			施策コード	21220																			
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして																						
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります																						
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度																		
施策名	第2施策 廃棄物の適正処理の推進				昭和63年以前 ▼																		
2 実施根拠及び関連法令・条例等																							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・ 相模原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 																							
3 個別計画の概要			概要																				
計画名																							
計画年次	年度～	年度																					
4 事業形態の区分	維持・管理・補修 ▼																						
5 事業概要																							
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）																				
<ul style="list-style-type: none"> ・ し尿処理施設の適正な維持管理を行うことにより、施設の機能保持を図り、各種法令等を順守した適正なし尿処理を目指す。 ・ 省エネルギー等環境に配慮し、光熱水費の経費削減を図る。 			し尿処理施設（管理棟・処理棟等の建物及び施設）																				
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。																							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的・効率的な施設管理を行なうとともに環境配慮行動としては以下を重点に実行した。 <ol style="list-style-type: none"> 1 敷地内の緑地保全 2 施設内の省エネルギー行動の実行 (処理量の減少による施設の効率的な運転及び部分消灯等による電気使用量抑制) 																							
<table border="0"> <tr> <td>(決算額)</td> <td>32,273,149円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 需用費</td> <td>14,447,173円</td> <td>・ 役務費</td> <td>312,841円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 委託料</td> <td>17,468,405円</td> <td>・ 使用量及び賃借料</td> <td>44,730円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						(決算額)	32,273,149円					・ 需用費	14,447,173円	・ 役務費	312,841円			・ 委託料	17,468,405円	・ 使用量及び賃借料	44,730円		
(決算額)	32,273,149円																						
・ 需用費	14,447,173円	・ 役務費	312,841円																				
・ 委託料	17,468,405円	・ 使用量及び賃借料	44,730円																				
6 関連・類似事業や他市の状況																							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの自治体では同じように実施しているが、一部事務組合を作って実施している自治体もある。 																							
7 事業費の推移 〔単位：千円〕																							
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度																		
事業費	33,851	32,378	32,274	32,548	32,548																		
一般財源	33,825	32,353	32,251	32,523	32,523																		
受益者負担金	0	0	0	0	0																		
その他の特定財源	26	25	23	25	25																		
人件費の合計	31,239	25,017	20,930	20,930	20,930																		
事業コスト合計	65,090	57,395	53,204	53,478	53,478																		
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率																							
事業名 (または、主たる事業名)				対象名称 と単位																			
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度																		
事業コスト(主たる事業)	0	0	0	0	0																		
対象数	0	0	0	0	0																		
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!																		
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!																		

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	・電気使用量の削減		指標式と指標の説明	目標（前年度使用量×98/100）	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	984,144.0	922,104.0	773,616.0		
目標	1,053,202.1	964,461.1	903,661.9	758,143.7	742,980.8
目標達成度（%）	93.4	95.6	85.6		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	削減達成度		指標式と指標の説明	・電気使用量の前年実績値/実績値*100 ・電気使用量の削減率を目標の削減率と比較する。	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	91.6	93.7	83.9		
目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
目標達成度（%）	93.4	95.6	85.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
C	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		公共下水道の整備が概ね終了しており、今後急激な処理量の減少は考えられないため、効率的な保守管理により施設の能力を維持するように努めるとともに、今後の処理量の推移を把握し施設維持管理に取り組む。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 電気使用量の削減や老朽化した施設の効率的な保守管理に取り組み、効率的な管理体制を目指す。			14 課題として認識されたこと 公共下水道整備完了地区の公共下水道未利用者に対する対策。（下水道管理者）		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			